

## 「解答・解答例等」

選抜区分	2026年度（選抜区分：一般選抜 前期日程） 法学部 法律学科・政策科学科（科目名：小論文）
<p data-bbox="201 344 395 376">問題 1「解答例」</p> <p data-bbox="201 443 1407 658">保護者の管理下にあり、子供や家庭の自由である帰宅後の行動の規制は、学校の越権行為である。それにもかかわらず、家庭や地域社会からの学校に対する高い依存が、学校の越権を通用させている。学校は聖職者としての使命感をもって子供の家庭への介入に取り組み、家庭はこれを積極的に期待する。教員は時間外労働を善意無給で子供の教育活動にあてることが常態化し、学校の過度な業務負担に依存するかたちで社会全体が安定的に維持される「学校依存社会」となっている。</p> <p data-bbox="201 676 1407 842">他方で、教員と保護者の立場は、互いに労働者であるとともに生活者でもあるという意味で同等である。しかし、教員の働き方を改善するにあたっては、家庭の負担に注目する必要がある。社会の変化によって、子供の教育に関する家族の機能は増えている。そのため、教員の時間外労働の家庭への移行は、女性にシャドウ・ワークをそのまま移行することになりかねない危うさがある。</p> <p data-bbox="233 860 785 891">（392 字；段落冒頭の 1 マス空きを入れて 394 字）</p> <p data-bbox="201 999 520 1030">問題 2 「出題の意図」参照</p>	